



産業建設

常任委員会

産業建設常任委員会に付託を受けた
議案について審査した結果、
主に下記内容が議論されました。

付託
議案6件
請願1件
報告1件(議決不要)

- 委員長/木下 敬夫
- 副委員長/久保 吉彦
- 委員/佐藤 喜典、杉木 勉、高僧 弘、
今田 勇雄、杉本 忠一

【議案第100号】
平成27年度七尾市一般会計補正予算(第4号)
◆高岡七尾バスルート実証運行について

- 問** 高岡七尾バスルートについて、乗車している人が少ない気がする。もう少し宣伝すべきでは。
- 答** 七尾市、氷見市、高岡市、富山県の関係者らと連携を取りながら宣伝活動をしてきたが、より地道で長いスパンで周知すべきだった。旅行会社の商品化やもっと地道なところでの宣伝活動など、協力しながら普段の周知を増やし展開していく。
- 問** 自治体間の連携も大事だが、宿泊客に対するPRも必要だと思うが。
- 答** 10月から北陸ディステーションキャンペーンを行ったなかで、JR、のと鉄道、わくライナーのトライアングル切符が出た。七尾へ来た時はJRで、帰りはわくライナーといったように、違ったルートで往復が出来たりするもので、いろんなイベントやポスターなどにこのようなことを併記しながら、地道にPRを行っていく。

【議案第100号】
平成27年度七尾市一般会計補正予算(第4号)
◆林道城石線災害復旧工事について

- 問** 林道城石線は通行止めになっている期間がほとんどで早く整備してほしいが、いつ通行可能になるのか。
- 答** 12月18日の完成を予定している。冬期間になることもあり、積雪を考慮して来春までの期間は通行規制をかけることになる。
- 問** 山間部は雪が多く仕方ないが、森林整備に使うこともあると思う。何度も工事がかりしている道路ということもあり、今後は通行可能にしてほしい。
- 答** 努力していく。

【議案第100号】
平成27年度七尾市一般会計補正予算(第4号)
◆庵漁港の災害復旧工事について

- 問** 庵漁港の災害発生で、被覆ブロックの工事前で予想風速というものはどれだけだったのか。
- 答** 設計時では風の強さではなく、波浪により算定して設計している。この波浪は石川県があらかじめ設定している波浪で、3.3mで設計されている。ただし、災害になると波浪を災害時の状況で算定するには、予算と時間がかなり掛かってしまうため、災害査定では波浪ではなく、風速15m以上を査定の基準にしている。今回の災害時は15.6mの風速があったため、災害の認定を受けた。

【その他】
◆暮らしっく館 葦について

- 問** 暮らしっく館 葦の2階部分が現在空いている。そこのテナントに入ってもらおう公募をしているようだが、どのような状況なのか。また、2階へ行くのに移動しにくい。
- 答** そこは以前に入っていた会社が別のところへ移動することになっており、その部分を今後*インキュベーション施設としての活用を図るために取り組んでいる。また、2階への移動はしづらいということだが、情報発信をしっかりとして、新しい風を呼んでくれることができるよう今後も取り組んでいく。
- *インキュベーション施設=起業家の育成や新しいビジネスを支援する施設



教育民生

常任委員会

教育民生常任委員会に付託を受けた
議案について審査した結果、
主に下記内容が議論されました。

付託
議案7件

- 委員長/永崎 陽
- 副委員長/松本 精一
- 委員/山添 和良、伊藤 厚子、大林 吉正、
石川 邦彦、中西 庸介、木下 孝輝

【議案第100号】
平成27年度七尾市一般会計補正予算(第4号)
◆中島学童野球場整備事業について

- 問** 中島学童野球場は、7月オープンということだが、国道側の旧通学路も含めた整備を行うのか。
- 答** 旧通学路は幅員が狭いということで、大会があるときは誘導員を配置して、一方通行で対応したいと考えている。大会以外の時は、車の往来も少ないため、現状どおりの通行を考えている。最終的には、野球協会や学童野球関係者と協議して決めたい。
- 問** 学童野球場なので、父兄もたくさん応援に来るし、選手はマイクロバスで来ることもある。協議することも大切だが、出来ることはしておかないと事故が起きてからでは遅い。大会時だけ一方通行するのではなく、まず道路整備はしておくべき。
- 答** 道路整備については、今後大会を開催してみて、安全等を確認しながら、検討していきたい。

【議案第107号】
平成27年度七尾市病院事業会計補正予算(第2号)
◆病院薬品費の新薬採用について

- 問** 投薬・注射薬品費が新薬の採用ということで、約3千万円の増額補正をしているが、その必要性は。
- 答** 新薬として採用されなかったものが、この10月に採用されたもの。当院では入院費はジェネリック薬品で対応している。また、外来のほうでも薬の購入費は下げているが、これらの薬はジェネリックでは対応できないため、薬品費を増額させてもらった。
- 問** 具体的に3千万円の新薬は、どういうものか。
- 答** ダルクインザ、スンベプラカプセルがC型肝炎に関する経口の薬で、約1,800万円。レブラミドカプセルが多発性骨髄腫に効く抗がん剤で約500万円。ザイボックスが、MRSAに効く薬で約500万円。ジェブタナという薬が前立腺がんに関与する新薬で約400万円となっている。

【議案第100号】
平成27年度七尾市一般会計補正予算(第4号)
◆放課後児童クラブ事業について

- 問** 事業の実績見込みによる減額ということで、放課後児童クラブ数が15から14に減っている。この件について、説明していただきたい。
- 答** 当初予算では、1クラブで60名以上となる場合は2クラスに分割する予定で、2つのクラブが60名以上となって分割することを想定して、予算計上した。しかし、4月以降、受け入れの児童数が確定した結果、1クラブのみが60名以上ということで、1クラブ減った形となった。
- 問** 現在、未認可の放課後児童クラブが4つあり、未認可のクラブに通っている児童数が思ったよりいたため、当初予算で見込んだ数字より減っているのではないかと。最大限の努力をしながら、高い利用料も取らずに一生懸命やっていたが、限界に近づいている。以前に答弁いただいたとおりになるかと思うが、一生懸命やっていたことに甘えるわけにはいかない。来年度に向けて、何か対応できないか。
- 答** この要望に関しては、議会で答弁したとおり。来年度に向けてという要望であるが、現段階で具体的なことは答えられない。
- 問** 少しでも子育て支援にやさしい面として、わずかな助成でも構わないので、何か考えていただく余地がないか要望する。
※要望のため答弁なし



放課後児童クラブ